

武蔵野市第五期長期計画・調整計画 無作為抽出市民ワークショップⅡ 実施報告【速報版】

1 ワークショップの概要

平成28年度を初年度とする第五期長期計画・調整計画策定に向けて、多くの市民の方から意見を伺うために無作為抽出市民ワークショップを開催した。市内に住民登録がある方1000人と5月に実施したワークショップの参加者85名に案内を送付し、その中で参加を承諾された方を対象に行った。

4～6人を1グループとして、グループ内で武蔵野市が望ましい都市になるためにはどのようなことが必要か、自由に意見・提案を出し合い、その後意見をまとめてグループごとに発表した。最後は参加者各々が、発表された意見の中で共感できるものに投票を行い、参加者から多く共感を得られた意見ベスト3を紹介した。

2 開催日時及び場所

平成26年11月29日（土）、12月6日（土）いずれも13時から17時まで
市役所811会議室

3 参加者数

- ・1日目：73人（うち前回参加者28名）
- ・2日目：61人（うち前回参加者25名）

4 参加者から多く共感を得た意見（分野毎に3位まで。【 】内の数字は得票数）

<健康・福祉分野>

- 1位 【11】 終末医療・治す医療でなく看とって下さる医療も充実させてもらいたい
- 2位 【9】 ムーバスの路線及び時刻表を通院しやすいものにする。
- 3位 【8】 聞き取り苦い防災無線にかわる非常災害情報伝達を工夫してほしい。
- 3位 【8】 空き地、空き家の有効利用。住民が世代を越えて自由に集えるサロン。
- 3位 【8】 地域的・閉鎖的なコミセンを誰でも参加しやすい開放的なものに。
- 3位 【8】 医療機関の充実（武蔵野市立病院の建設）
- 3位 【8】 多様な立場・年代の人々間の互助システム・インフラの構築。
- 3位 【8】 夜の活用、土日の活用！交流・つながりを求めて若人も社会人も参加する。
（コミセンについて）

<子ども・教育分野>

- 1位 【22】 誰もが働きやすくするための保育サービスの提供
- 2位 【10】 中高生の自転車マナー向上の為、市がルール講習・実演を学校で行う。
- 3位 【8】 小学生の通学路を安全にする為市が交通指導員を立たせる。
- 3位 【8】 市が条例でできることを整理する。道路行政、駅周辺の交通規制など。

<文化・市民生活、緑・環境>

- 1位 【12】 市民農園の増加 利用していない農地の活用（市の取得 or 貸借）
- 2位 【10】 コミュニケーションの採りやすいまち（防災訓練や祭等の場を提供し顔の見える関係を築く）
- 3位 【8】 次世代を担う子供達に真の芸術に触れる様市在住の芸術家に支援をあおぐ

<都市基盤・行財政>

- 1位 【17】 若者に長く住んでもらう（・保育所増設 ・家賃補助）
- 2位 【16】 農地の保全。武蔵野ブランドの育成の積極的支援を市が行う。
- 3位 【8】 コミセン等施設の活用方法等の見直し。さらなる広報の充実。
- 3位 【8】 吉祥寺駅周辺の整備 駅前広場（北口・南口）の拡張等バスターミナル

（※文字及び文章は発表用模造紙に記入されていた原文のまま表記）

5 当日の様子



・会場全体の様子



・グループでの討議



・グループ意見発表



・策定委員会委員長挨拶